



危機管理室

一般会計要求総額 205百万円
(対前年度 +33.2%)

【平成29年度 予算要求の経営方針】

危機管理室は、「元気発進！北九州」プラン（北九州市基本計画）に掲げる「災害などに強いまちづくり」に向けて、東日本大震災や熊本地震の教訓と支援の経験等を踏まえた「地域防災計画の見直し」や、住民参加型の防災訓練を積極的に実施するなど、「想定を超える災害でも命を守る防災体制」の強化を図り、総合的な防災体制の充実強化に取り組んでいきます。

また、全国各地における様々な災害の教訓を踏まえ、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力の向上につながる事業をすすめ、地域防災力の充実強化を図ります。

【平成29年度 予算要求の基本的な考え方】

①：新規事業、②：拡充事業

① 想定を超える災害でも命を守る防災対策の充実強化 要求額77百万円（対前年度 +26%）

住民の「自助」意識の醸成や、地域住民が助け合う「共助」による防災対策を推進し、地域防災力の充実強化を図る。また、大規模災害に備えた防災体制の強化をすすめる。

- ① みんな de Bousai まちづくり推進事業
- ② 避難所生活支援強化事業
- ② 北九州市国土強靱化地域計画策定支援事業
- ② 大規模災害に備えた非常食糧・飲料水整備事業



地区 Bousai 会議の様子

② 防災訓練を通じた関係機関や地域との連携の強化 要求額 13百万円（対前年度 +15%）

防災関係機関との連携の強化、市民一人ひとりの防災意識の向上や避難行動の普及を図るため、実践的で多様な防災訓練を実施する。

- ② 市総合防災訓練、区防災訓練、避難所体験・運営訓練
- ② 福岡県石油コンビナート等総合防災訓練・国民保護訓練

② 災害時の情報伝達手段など防災情報の充実強化 要求額 51百万円（対前年度 +66%）

災害時はもとより、平常時より様々な防災情報について提供できるよう、効果的な情報伝達手段の充実を図る。

- ② 防災行政無線高度化事業の拡充
- ② 防災情報収集伝達機能の強化

② 被災地（東日本大震災、熊本地震）への支援 要求額 55百万円（対前年度 +32%）

東日本大震災及び熊本地震の被災地への市職員派遣等、被災地のニーズに即した支援活動を行う。

- ② 被災地復興支援事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成29年度に実施することが確定しているものではありません。